



コントロールスイッチャ

ISW-1000P

取扱説明書

—第1版—
2009年1月

梅 沢 技 研 株 式 会 社

納入製品のお取り引き条件約款

製品の納入

- 納入済みの製品の解約は原則としてお断りいたします。
- 6ヶ月以上前の注文指定はお受け致しかねます。
- 納期を厳守いたしますが、止む無く納期変更の場合があります。その際、協議の上決めさせていただきます。
- 製品は、当社標準梱包方式で納入します。運賃等諸掛かりを別途に負担いただきます。
- 取扱説明書は、製品に1部添付しております。別途必要なときは有料となります。
- 製品は改良などの為予告なく意匠、使用の一部を変更することがあります。
- 製品の所有権及び滅失毀損等の危険負担は、納入時にお客様に移転します。
- 当社の据え付け工事を行う製品は、据え付け調整の完了をもって、お客様の検収終了といたします。
- 当社が据え付け工事を行わない製品は、製品納入から30日以内に検収願います。
製品の不具合は30日以内に確認し、通知して下さい。通知のない場合は、検収終了といたします。
- お客様の支払い遅延その他の債務不履行があった場合、当社催促後10日以内に履行されないときは、お客様に対する当社の債務の履行を停止することがあります。
- ソフトウェア製品については、別途定める「ソフトウェア約款」に基づいて権利の許諾が受けられます。

製品の保証

- ・ここで使われる不具合とは、製品の故障や損傷を意味するもので、それらに起因する損害は含みません。
- ハードウェア製品に対しては、部品及び製造上の不具合について保証します。
保証期間中は通知がありしだい、当社の判断で修理又は交換を行います。
- ソフトウェア製品に対しては、ソフトウェアの媒体の不具合について保証します。
- 保証期間中、該当するソフトウェアがハードウェア上に適切に設置されたに拘わらず、媒体の不具合が原因で正常実行されない場合は、当社の判断で媒体の修理又は交換を行います。
- 保証による修理は、当社営業時間の午前9時から午後5時30分の時間帯で実施します。尚、保証期間中内でも当社規定の出張修理地域以外での出張修理は、技術派遣費は実費請求となります。
- 当社の保証は、製品の動作が中断されないものであったり、エラーの皆無であること保証するものではありません。
保証期間中に、当社が不具合を認めた製品を相当期間内に修理又は交換出来なかった場合、お客様に製品を返品ししてもらい、当社から購入金額をお返しします。
- 保証期間は、製品ごとに定められております。当社担当までお問い合わせ下さい。この期間を過ぎたものは、全て有償修理となります。保証は、当社が据え付け調整を行う製品については、据え付け調整完了日より開始します。また、据え付け調整を行わない製品のみについては、納入日より開始します。
- 当社の保証は、以下に起因する不具合に関しては適用されません。
 - (1) 適当又は不安全な保守、保管及び保存により生じた不具合。
 - (2) 当社が認めていない使用上の誤り、或いは不当な改造や修理により生じた不具合。
 - (3) お客様による輸送移動中の落下、衝突等及び据え付け場所の不備又は保全の不相当による不具合。
 - (4) 当社が認めていない車両、船舶ならびに航空機等へ搭載したことによる不具合。
 - (5) 当社以外のソフトウェア又は機器を接続して生じた不具合。
 - (6) 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害等の天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による不具合。
 - (7) 日本国以外の外国にて使用した場合の全ての不具合。

注意：上記による不具合製品については、性能や安全性を復旧できないことがあり、修理不能のことがありますので修理をお断りすることがあります。
- 当社は、以上に記載する以外の保証は行いません。また、製品の特定用途での性能や特性などの適応性や不具合に関する保証はいたしかねます。
- 当社による、製品の保守修理部品の供給期間は、その製品の廃止後5年間です。

製品又はサポートに対する責任

- 当社は、以下の事由に基づき第三者からの特許権等の侵害の申し立てに対し、その責任を負いません。
 - (1) お客様のデザイン、仕様、指示に基づく製品。
 - (2) 当社以外による製品の改造。
 - (3) 製品の不適当な使用。
 - (4) 当社以外から供給された製品と組み合わせて使用すること。

- 当社は、製品又はサポートによる特許権等及びその他の知的財産権侵害について、ここに記載されている以外の責任を負いません。

- 不可抗力による履行の遅滞や不履行については、お客様、当社双方その責任を負わないものとします。

- 製品は、人命に拘わる医療機器、航空機、船舶及び公共の場所などでの運用上の結果並びに原子力施設での運用による結果の責任を負いかねます。

- 当社の製品を使用したいかなるシステムの運用上の結果において、他の及ぼす影響や不具合に対して責任を負いかねます。
- 当社製品の不具合に対し、無償補償期間中のみ同等のものと交換します。直接関係の無い機器の不具合まで補償するものではありません。

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくために注意事項を説明します。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。

図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号はしてはいけないことを意味します。

図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号はしなければならないことを表しています。

図の中に具体的な指示内容が描かれています。



警告

異常状態（煙が出ている、へんなにおいや音がする）のときは電源プラグを抜く



●万一、煙が出ている、へんなにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

ふたは絶対あけない



●この機器のふたははずさないでください。感電の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

指定以外の電圧で使用しない



●表示された電源電圧AC100ボルト以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない



●指定以外のヒューズを使用したり、ヒューズホルダの短絡は絶対に行わないでください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全にご使用いただくために

内部にものや水などをいれない



- この機器の開口部（通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



- 万一異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一この機器の内部に水など入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードを傷つけて、火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災故障の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

もくじ

ご使用にあたって	2ページ
1. 概要と特徴	
1-1. 概要	3ページ
1-2. 主な特徴	3ページ
2. 各部の説明	
2-1. 正面操作部	4ページ
2-2. 背面電源部	5ページ
2-3. 背面映像・音声等接続部	6ページ
3. システム構成例と操作方法	
3-1. システム構成・接続例と操作概要	7ページ
3-2. プロジェクタ等の外部接続機器使用時の操作手順	8ページ
3-3. マイク（LINE入力）のみ使用時の操作手順	9ページ
4. 制御ケーブルの接続	
4-1. USBケーブルの接続	10ページ
4-2. LANケーブルの接続	10ページ
4-3. RS-232Cケーブルの接続	12ページ
5. コネクタ仕様	
5-1. PC映像入出力コネクタ	13ページ
5-2. スピーカ端子台	13ページ
5-3. RS-232Cコネクタ	14ページ
5-4. LANコネクタ	14ページ
5-5. USBコネクタ	15ページ
6. オプション	16ページ
7. 仕様	17ページ
8. 故障かなと思ったら	18ページ

ご使用にあたって

お願い

- 輸送中、使用前において破損等がないことを確認の上使用してください。
- 本製品は、社内に於いて十分検査をした上で出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、販売店までご連絡ください。

注意

- 本製品は日本国内使用時に限り有効とします。日本国外での使用に関する問い合わせ及び責任には一切応じかねます。
- 人命にかかわる医療装置、航空機、船舶及び公共の場所などで運用した場合の責任には一切負いかねます。
- 本製品を使用したいかなるシステムの運用結果の影響、不具合に関しては一切責任を負いかねます。
- 弊社製品の不具合に関しては、同等のものと交換（無償補償期間中のみ）までといたします。その他の機器の不具合まで補償するものではありません。

注意

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

必ずお守り下さい

- 電源のON/OFFは電源スイッチより行い、電源コードの抜き差しによるON/OFFは行わないでください。
- 使用上で次のような症状が出た時は直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜いて速やかに、販売店にご連絡ください。
 - (1) 異常な発熱、発煙、異臭、異音等が出た時。
 - (2) 電撃を受けた時。
 - (3) 画面に異常が出たり、スイッチコントロール等ができなくなった時。

1. 概要と特徴

1-1. 概要

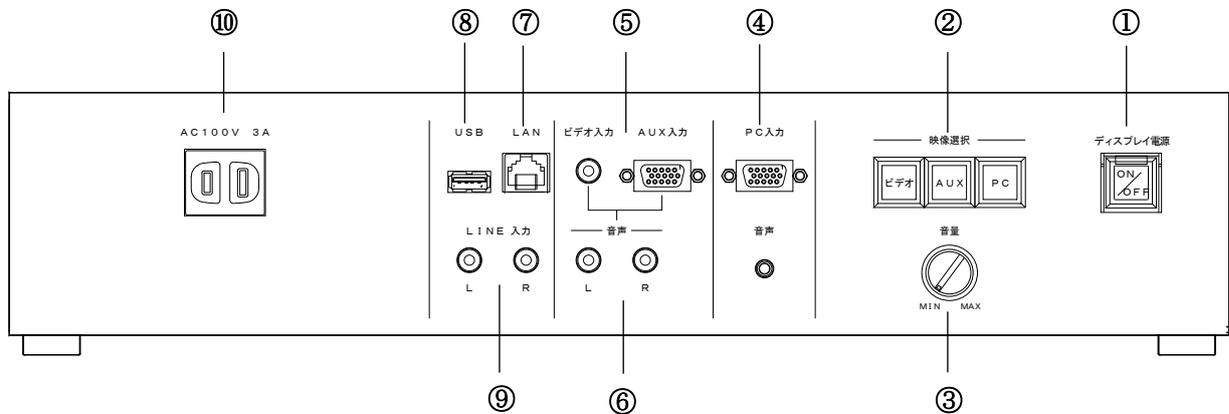
本器は、簡易なAVシステムに最適なアンプ内蔵コントロールスイッチャです。
下記の特徴があります。

1-2. 主な特徴

1. 前面にパソコン映像・音声、ビデオ映像・音声、USB、LANコネクタ、AC100Vサービスコンセントを実装
2. プロジェクタ等ディスプレイのRGB、ビデオの入力切替、電源のON/OFFが前面スイッチにて可能
3. 20W×20Wのアンプ内蔵
4. LINE入出力音声を装備

2. 各部の説明

2-1. 正面操作部



①ディスプレイ電源スイッチ

プロジェクタ等の外部接続機器の電源ON/OFFを操作します。
(p8参照)

②映像選択スイッチ

プロジェクタ等の外部接続機器の入力と映像音声は連動で切替わります。(p8参照)

③メイン音声ボリューム

選択した映像音声とLINE入力音声のミックス出力の音量を調整します。(p8-9参照)

④PC入力コネクタ

PC入力コネクタです。映像は背面にあるPC出力コネクタへスルー出力されます。また、音声はスピーカとLINE出力コネクタに出力します。(p7参照)

⑤ビデオ/AUX入力映像コネクタ

ビデオ入力、AUX入力コネクタです。映像は背面ビデオ出力、AUX出力コネクタへスルー出力します。AUXへは変換ケーブルを使いコンポーネント信号等の映像の入力もできます。(p7参照)

⑥ビデオ/AUX入力音声コネクタ

ビデオ/AUX映像のどちらかの音声を入力することができます。音声単独での利用もできます。背面スピーカ端子とLINE出力コネクタに出力します。(p7参照)

⑦LANコネクタ

LANコネクタ(CAT5e)です。背面にあるLANコネクタにスルー出力します。(p10参照)

⑧USBコネクタ

USBコネクタ(USB2.0 A端子)です。背面にあるUSBコネクタにスルー出力します。(p10参照)

⑨LINE入力コネクタ

LINE入力コネクタです。PC入力の音声または、ビデオ/AUX入力音声とミックスされスピーカ、LINEに出力されます。背面電源スイッチがON状態で、使用できます。(p7,9参照)

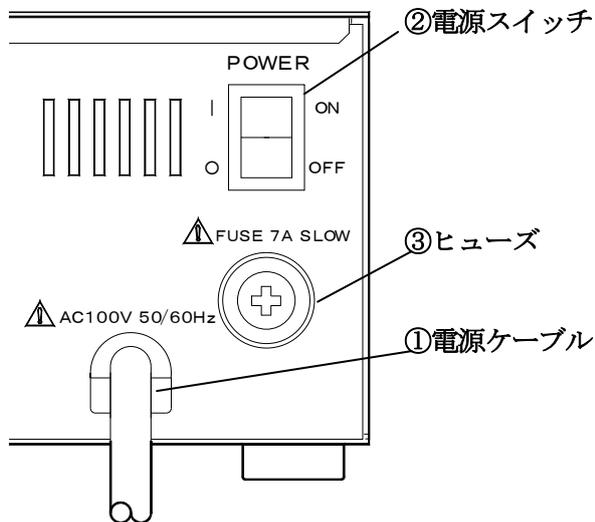
⑩AC1000Vコンセント

サービスコンセントです。最大3A(300Wの機器)までの電流を供給できます。

2. 各部の説明

2-2. 背面電源部

本機背面



<電源の投入手順>

全ての接続が正しいことを確認します。



①電源ケーブルをコンセントに差し込みます。



②背面にある電源スイッチをONにすると、外部接続機器の操作、サービスコンセントの使用ができます。



注意

- ・ 電源は、必ず所定のコンセントから取り確実に差し込んでください。
- ・ 電源ケーブルの上に物を乗せたり、強く引いたり、鋭利なものに当たったりしないでください。
- ・ 電源スイッチの再投入は、5秒以上経ってから投入してください。

③ヒューズ 7 Aガラス管ヒューズ使用

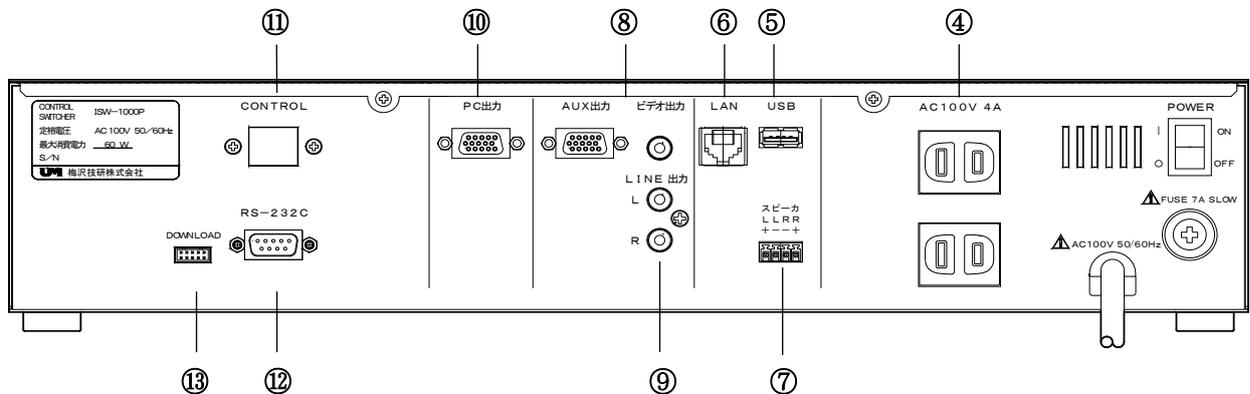
②の電源スイッチをONしても前面スイッチの操作、サービスコンセントが使用できない場合は、コンセントからの電源が供給されていないか、ヒューズが切れている場合があります。ヒューズを交換する場合、下記“警告”内容に従い作業願います。

警告

- 感電防止のため、ヒューズの交換は必ず電源コードをコンセントから抜き取り、指定の定格ヒューズに交換して下さい。
- 指定以外ヒューズの使用及びヒューズホルダの短絡は絶対に行なわないで下さい。
B種 (J I C C 6 5 7 5 NR)
溶断特性 1 6 0 % ≤ 6 0 分 * 2 0 0 % ≤ 2 分 同等品使用

2. 各部の説明

2-3. 背面映像・音声等接続部



④AC100Vコンセント

サービスクンセントです。最大4A（400Wの機器）までの電流を供給できます。

⑤USBコネクタ

USBコネクタ（USB2.0 A端子）です。正面USBコネクタのスルー出力です。（p10参照）

⑥LANコネクタ

LANコネクタ（Cat5e）です。正面LANコネクタのスルー出力です。（p10参照）

⑦スピーカコネクタ

25W×2-4Ω、20W×2-6Ω、17W×2-8Ωのアンプ出力です。LINE入力音声とミックスした音声が出力します。（p7参照）

⑧ビデオ/AUX出力映像コネクタ

ビデオ出力、AUX出力コネクタです。映像は正面ビデオ入力、AUX入力コネクタのスルー出力です。（p7参照）

⑨LINE出力コネクタ

LINE出力コネクタです。LINE入力音声とミックスした音声ラインレベルで出力します。

⑩PC出力コネクタ

PC出力コネクタです。正面PC入力コネクタのスルー出力です。（p7参照）

⑪CONTROLコネクタ

将来対応用コネクタ取付部です。

⑫RS-232C

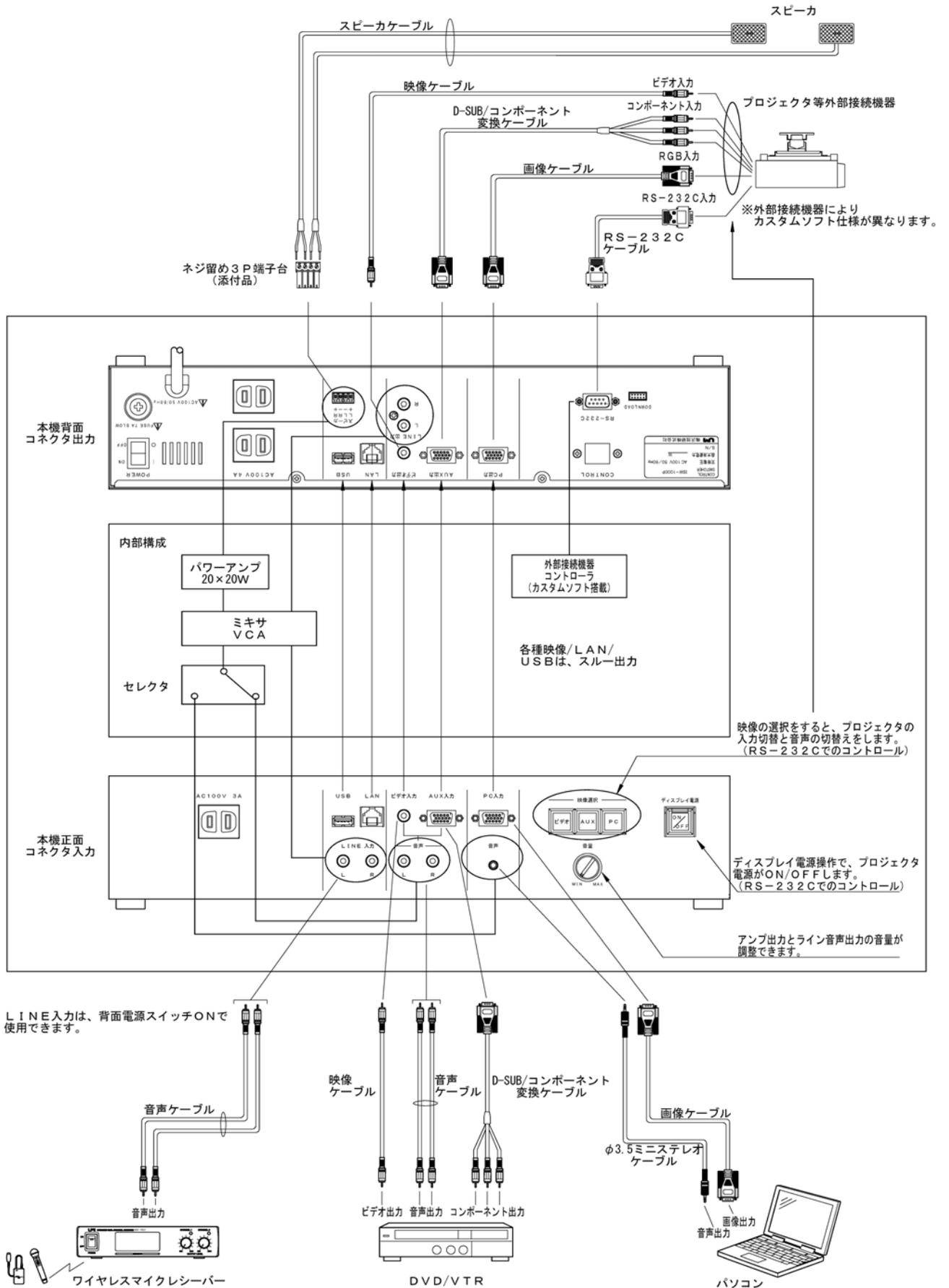
RS-232Cコネクタです。プロジェクタ等の外部接続機器をRS-232Cで制御します。（p12参照）

⑬DOWNLOAD

メンテナンス用コネクタです。

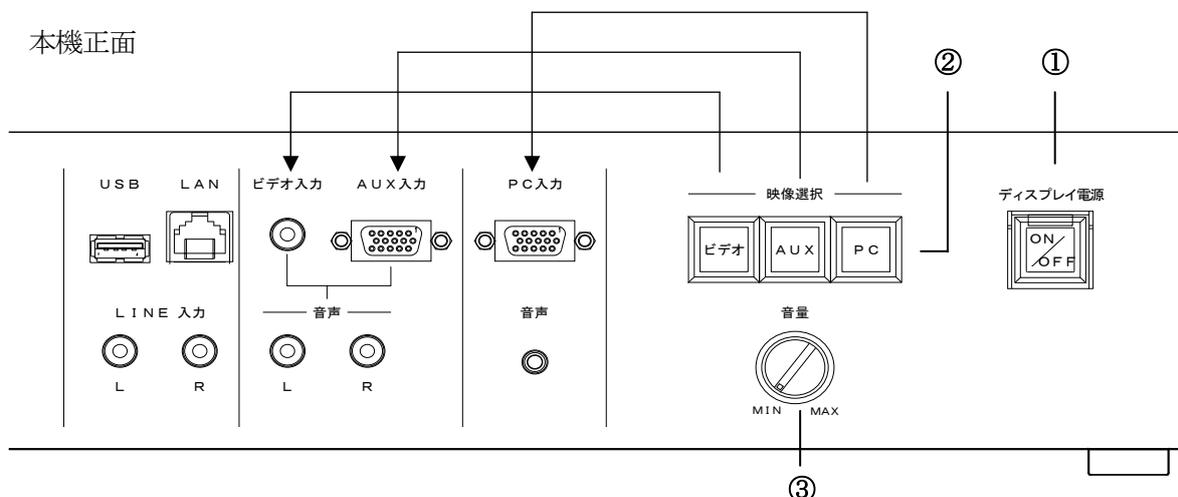
3. システム構成例と操作方法

3-1. システム構成・接続例と操作概要



3. システム構成例と操作方法

3-2. プロジェクタ等の外部接続機器使用時の操作手順



背面電源部ON後の操作手順

<プロジェクタ等の外部接続機器をパワーON>

①消灯中のディスプレイ電源スイッチを押下します。

- ・ディスプレイ電源スイッチLEDは緑点灯します。
- ・映像選択スイッチ・音量調整（選択音声）が有効になります。

※ 映像選択スイッチは外部接続機器のRS-232Cコントロール確立後に有効になります。

※ 電源ON直後は外部接続機器保護のためOFF禁止時間があります。



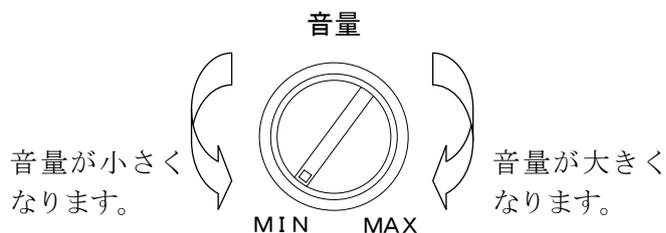
<映像・音声の選択操作>

②映像選択スイッチを選択します。

- ・ビデオ選択 ⇒ 外部接続機器のビデオ入力と本機ビデオ/AUX入力音声を選択します。
- ・AUX選択 ⇒ 外部接続機器のコンポーネント入力等と本機ビデオ/AUX入力音声を選択します。
※外部接続機器により選択位置が異なる場合や、選択できない場合があります。
- ・PC選択 ⇒ 外部接続機器のRGB入力と本機PC入力音声を選択します。

<音量調整>

③メイン音声ボリュームを左右に回すことでスピーカ/ライン音声出力の音量を調整します。



音量は、LINE入力と選択音声のミキシング出力が調整されます。



<プロジェクタ等の外部接続機器のパワーOFF>

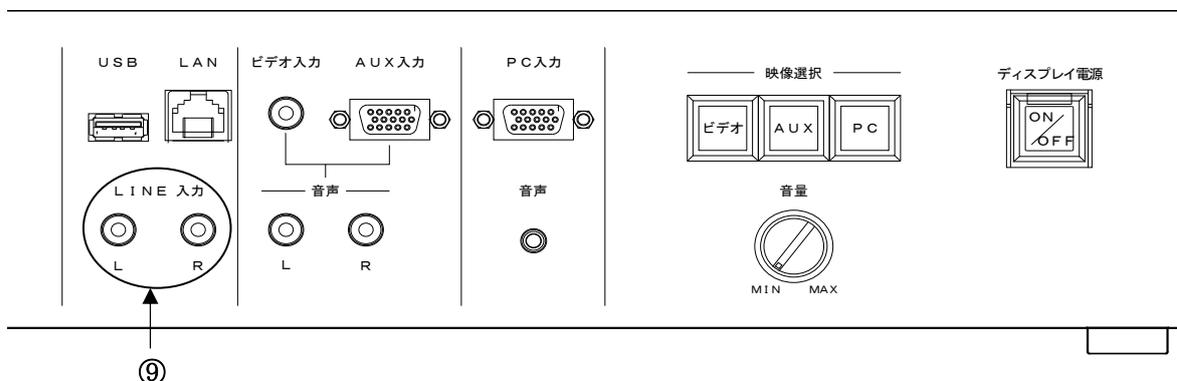
①点灯中のディスプレイ電源スイッチを押下します。

- ・外部接続機器は、クーリングを開始し、スイッチLEDはクーリング時間中は点滅します。
- ・外部接続機器のクーリング終了後に、スイッチLEDの点滅が終了し消灯します。

3. システム構成例と操作方法

3-3. マイク (LINE入力) のみ使用時の操作手順

本機正面



背面電源部ON後の操作手順

<LINE入力に機器を接続>

⑨ライン入力にワイヤレスマイクチューナー等のライン音声出力を接続します。



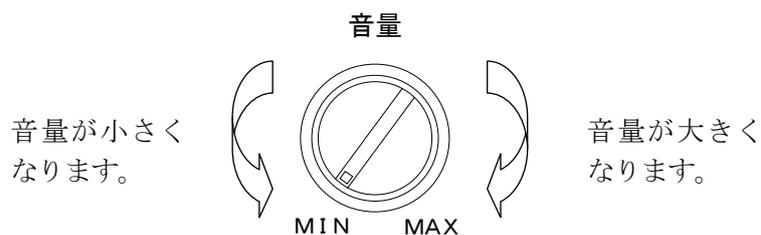
<LINE入力接続機器のパワーON>

・ワイヤレスチューナー等の接続機器本体の**ボリューム音量が小音量であることを確認し電源をON**します。



<音量調整>

③メイン音声ボリュームを左右に回すことでスピーカ/ライン音声出力の音量を調整します。



終了操作手順

<LINE入力接続機器のパワーOFF>

・ワイヤレスチューナー等の接続機器本体の電源をOFFします。

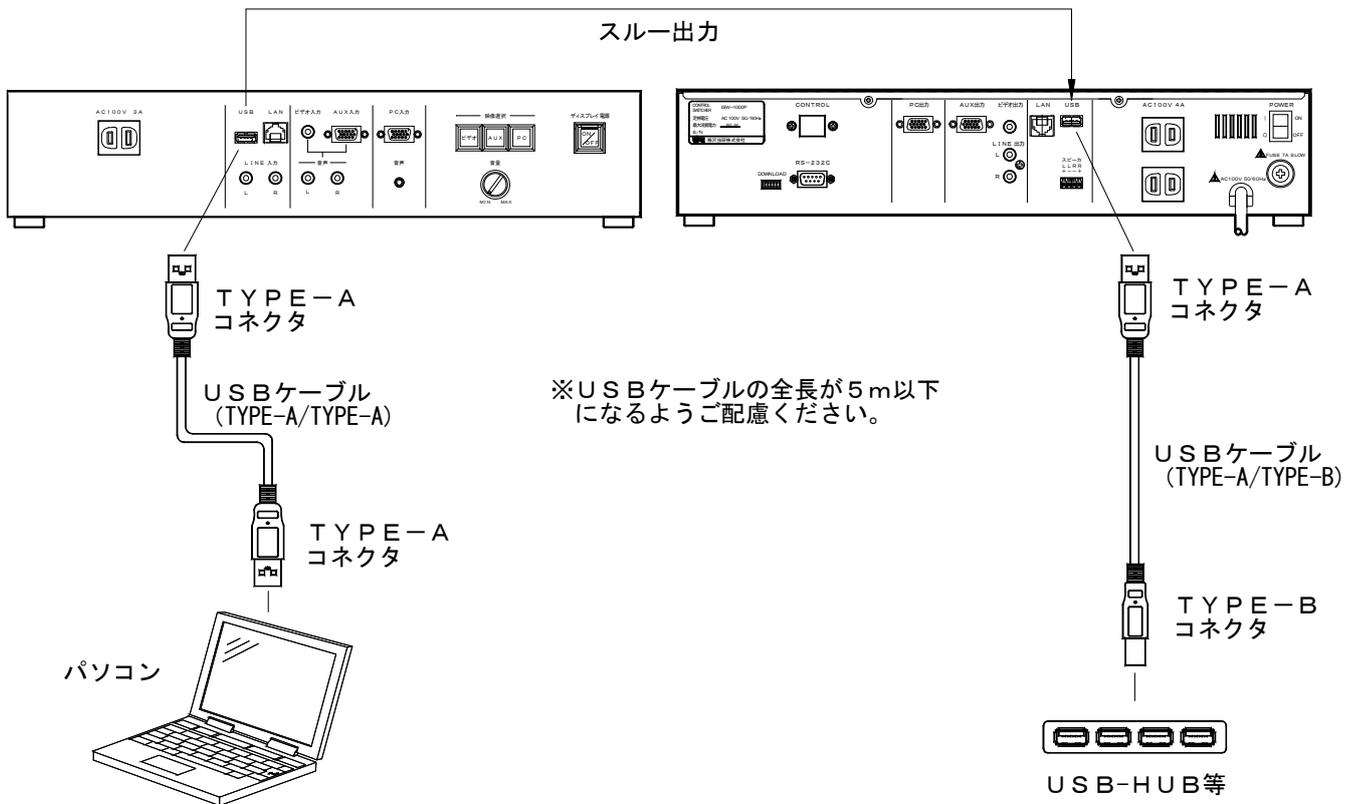


<LINE入力機器の抜去>

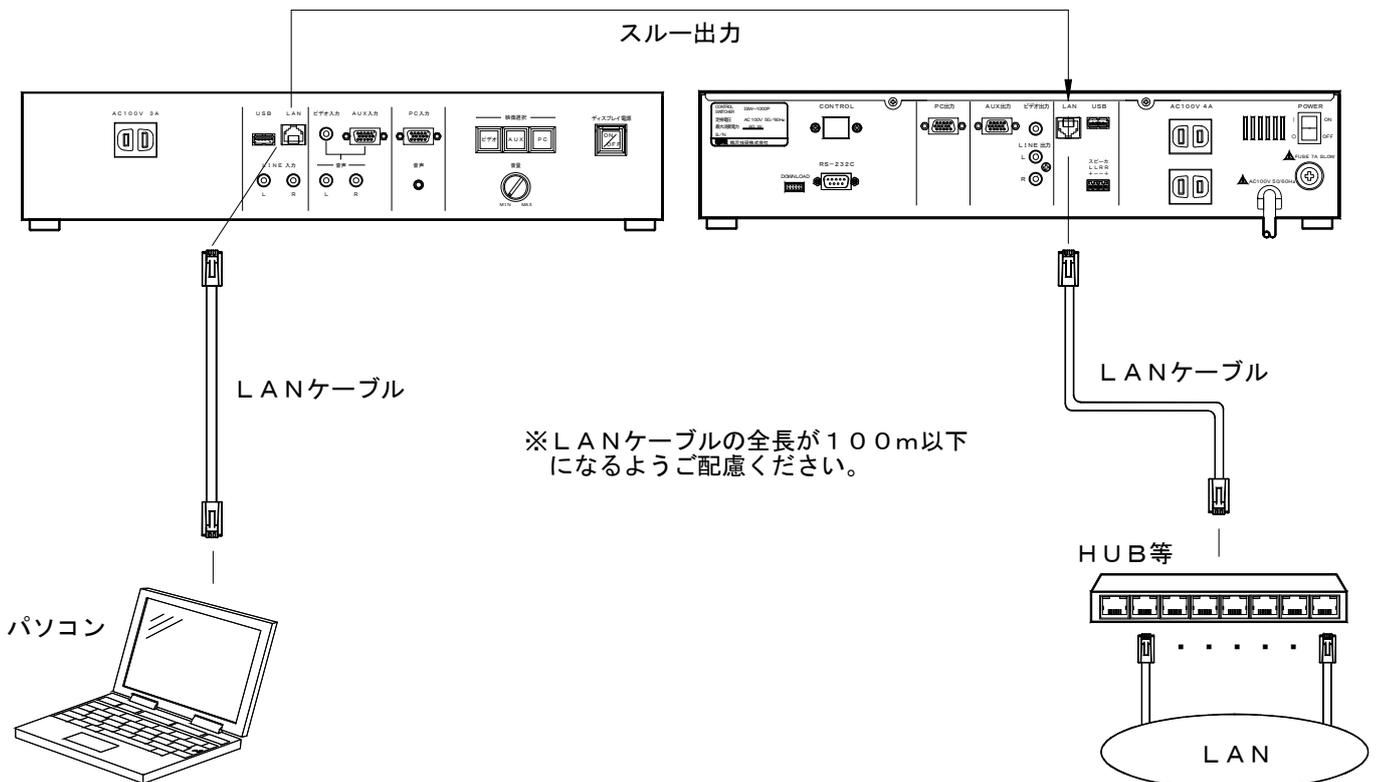
・ワイヤレスチューナー等の接続機器の音声ケーブルを抜去します。

4. 制御ケーブルの接続

4-1. USBケーブルの接続

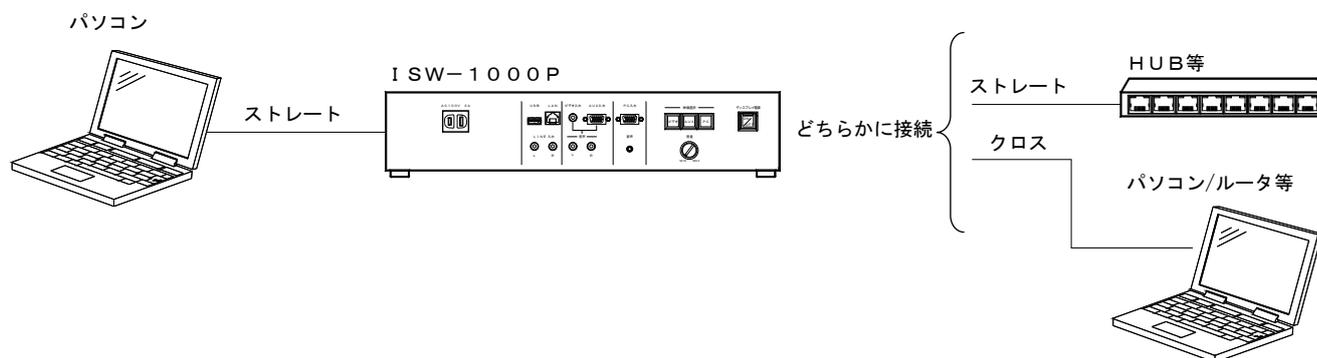


4-2. LANケーブルの接続



4. 制御ケーブルの接続

<LANケーブル結線例>



- ・ストレート結線例 (パソコン⇔ISW-1000P、ISW-1000P⇔HUB間)

ピン番号	信号名	ケーブル芯色		ピン番号	信号名
1	TX+	白/橙	—————	1	RX+
2	TX-	橙	—————	2	RX-
3	RX+	白/緑	—————	3	TX+
4	未使用	青	—————	4	未使用
5	未使用	白/青	—————	5	未使用
6	RX-	緑	—————	6	TX-
7	未使用	白/茶	—————	7	未使用
8	未使用	茶	—————	8	未使用

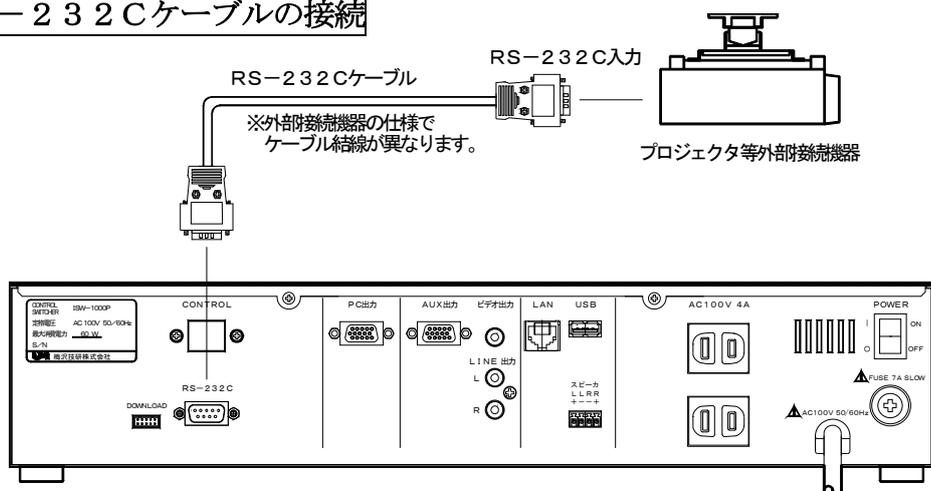
- ・クロス結線例 (ISW-1000P⇔パソコン/ルータ等間)

ピン番号	信号名	ケーブル芯色		ピン番号	信号名
1	TX+	白/橙	—————	3	RX+
2	TX-	橙	—————	1	TX+
3	RX+	白/緑	—————	2	TX-
4	未使用	青	—————	4	未使用
5	未使用	白/青	—————	5	未使用
6	RX-	緑	—————	6	RX-
7	未使用	白/茶	—————	7	未使用
8	未使用	茶	—————	8	未使用

※ 上記結線はEIA/TIA-568B仕様です。CAT5以上のケーブルを使用します。

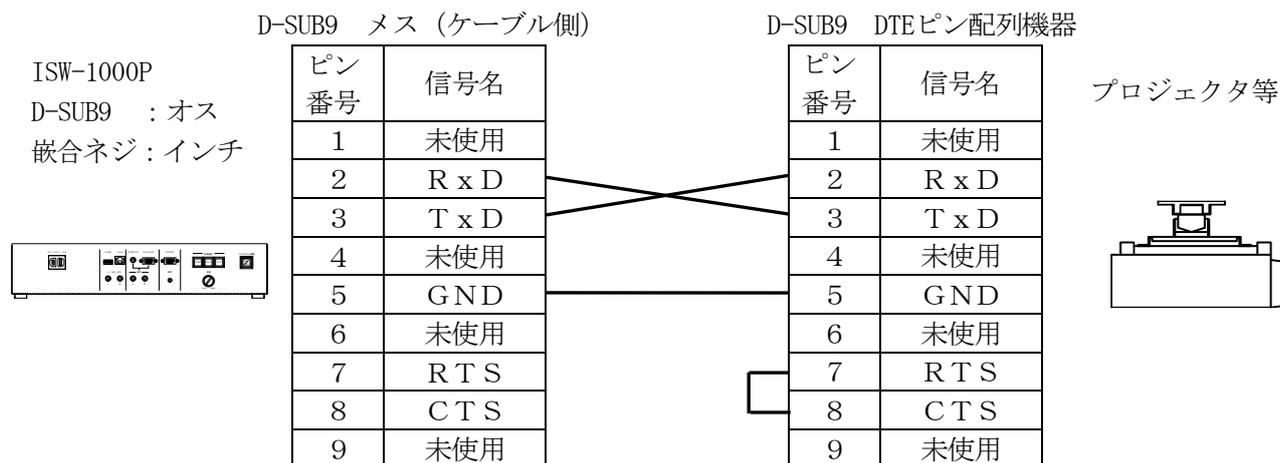
4. 制御ケーブルの接続

4-3. RS-232Cケーブルの接続

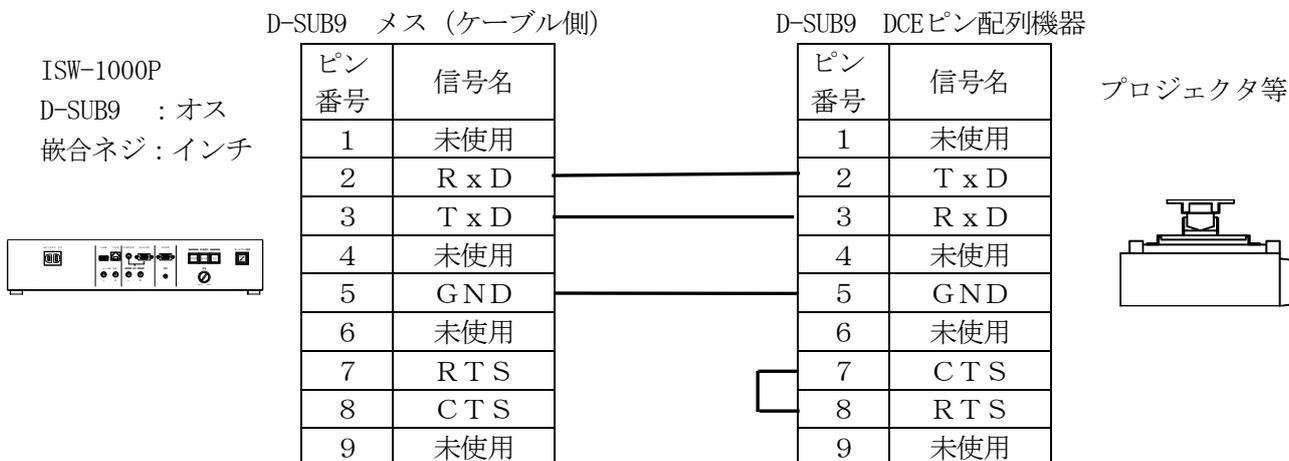


<RS-232Cケーブル結線例>

- ・RS-232Cピン配列がパソコンと同じ機器（DTEピン配列）を接続する場合の結線例です。（クロス結線）



- ・パソコンとストレート結線で動作する機器（DCEピン配列）を接続する場合の結線例です。（ストレート結線）

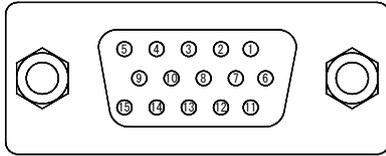


※ 接続ケーブルは、外部接続機器の仕様をご確認下さい。

※ 最大延長20mまでです。20mを超える場合は、ケーブル延長器（BX-200-L）が別途必要です。

5. コネクタ仕様

5-1. PC映像入出力コネクタ



入出力共通

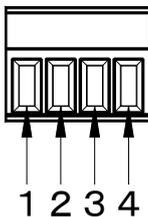
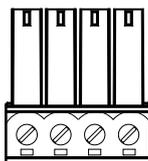
コネクタ：シュリンクDサブ15ピン メス

嵌合台：インチ

※スルー出力仕様です。

ピン番号	入力部	出力部
1	赤信号	赤信号
2	緑信号	緑信号
3	青信号	青信号
4	N. C	N. C
5	接地	接地
6	赤 接地	赤 接地
7	緑 接地	緑 接地
8	青 接地	青 接地
9	N. C	N. C
10	同期信号 接地	同期信号 接地
11	N. C	N. C
12	N. C	N. C
13	水平同期信号	水平同期信号
14	垂直同期信号	垂直同期信号
15	N. C	N. C

5-2. スピーカ端子台



ピン番号	信号	動作
1	L+	スピーカ音声左 +信号
2	L-	スピーカ音声左 -信号
3	R-	スピーカ音声右 -信号
4	R+	スピーカ音声右 +信号

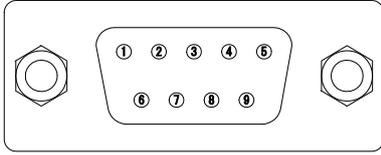
※ コネクタ使用可能電線は、AWG 28～AWG 14までです。（より線、単線共通）

※ 電線の推奨むき長は6～7mmです。

- スピーカ定格出力
 - 2.5W×2－4Ω
 - 2.0W×2－6Ω
 - 1.7W×2－8Ω

5. コネクタ仕様

5-3. RS-232Cコネクタ



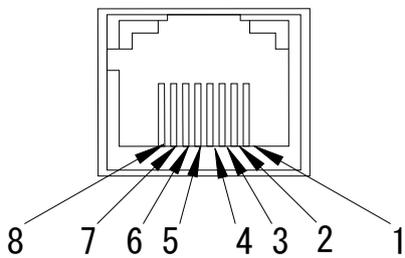
コネクタ : Dサブ9ピン オス
 嵌合台 : インチ
 最大延長 : 20m

DTEピン配列

ピン番号	信号	動作
1	接続なし	
2	RxD	RS-232C 受信入力
3	TxD	RS-232C 送信出力
4	接続なし	
5	GND	信号グランド
6	接続なし	
7	RTS	RS-232C 送信要求
8	CTS	RS-232C 送信可
9	接続なし	

- ※ 20mを超える距離がある場合は、ケーブル延長機器 (BX-200-L) 等が別途必要です。
- ※ RTS/CTSは内部でショートしています。

5-4. LANコネクタ



コネクタ : RJ-45
 規格 : 10/100BASE-TX
 ケーブル : CAT5以上
 最大延長 : 100m (端末間)

内部結線

正面LANコネクタ

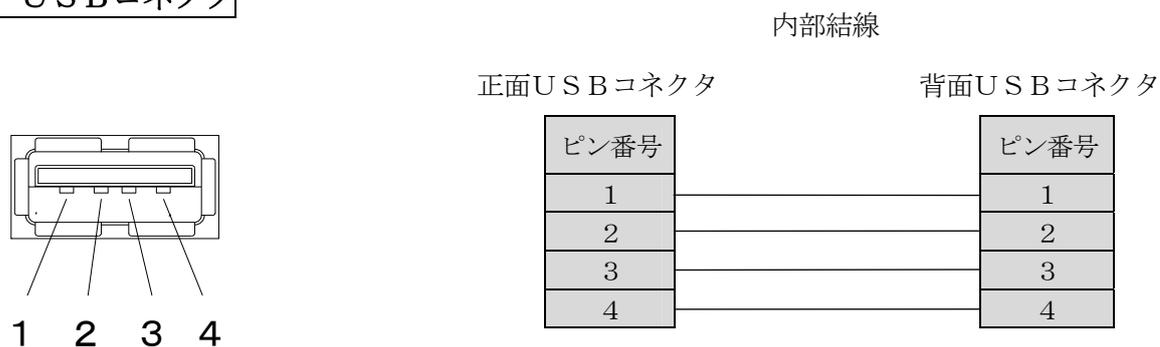
背面LANコネクタ

ピン番号	ピン番号
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8

- ※ 外部接続端末間でのケーブル長は100m以下になるよう接続ください。
- ※ スルー出力仕様のため外部接続端末機器間での結線はご確認ください。

5. コネクタ仕様

5-5. USBコネクタ



コネクタ : TYPE A
規格 : USB 2.0
最大延長 : 5 m (端末間)

※ 入出力はスルー出力仕様のため本機-ホスト（パソコン間）、本機-デバイス（USB機器）間の全長でケーブルが5 m以内になるよう接続ください。

※ 本機は入出力共にTYPE Aコネクタを装備しています。ホスト（パソコン）との接続はTYPE A同士のコネクタを持つケーブルをご利用ください。

6. オプション

・オプションケーブル詳細等は、別途オプションケーブル仕様書参照してください。

6-1. インターフェイスケーブル/変換ケーブル/その他

項	品名	型式	規格
1	VGAケーブル	UMC-VGA	シュリンクDサブ15ピン 2m 1本
2	BNC用変換ケーブル	5MS-1.5C-S15-2m	BNC- シュリンクDサブ15ピン 2m 1本

6-2. 入出力画像信号ケーブル

項	品名	型名	規格
1	画像信号ケーブル オスオスタイプ	UMC-S15S15-XXm-MM	シュリンクDサブ15P MM=オスオス XXm=長さ 5m単位

6-3. RS-232Cコントロールケーブル (ISW-1000P/外部接続機器等)

動作保証距離：最長20m

項	品名	型名	規格
1	RS-232C コントロールケーブル	RM-0909-2m	Dサブ9ピン 2m
		RM-0909-5m	Dサブ9ピン 5m
		RM-0909-10m	Dサブ9ピン 10m

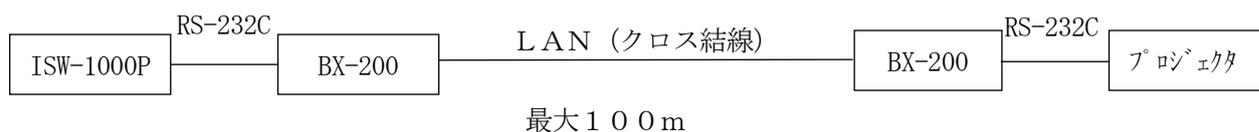
使用機種に合わせたケーブルを製作します。

6-4. RS-232C/LAN変換器

型番 BX-200-L

BX-200を対向に設置し、RS-232CをLANに変換し最大100mまでの延長を可能にします。

(使用例)



7. 仕様

●ビデオ映像入力	コンポジットビデオ：RCA	1系統
●ビデオ映像出力（スルー）	コンポジットビデオ：RCA	1系統
●PC映像入力	アナログRGB：シュリンクDサブ15ピン（メス）	1系統
●PC映像出力（スルー）	アナログRGB：シュリンクDサブ15ピン（メス）	1系統
●AUX映像入力	アナログRGB：シュリンクDサブ15ピン（メス）	1系統
●AUX映像出力（スルー）	アナログRGB：シュリンクDサブ15ピン（メス）	1系統
●ビデオ音声入力	-10dBV MAX10dBV /50KΩ	:RCA 1系統
●PC音声入力	-10dBV MAX10dBV /50KΩ	:φ3.5mmステレオ 1系統
●ライン音声入力	-10dBV MAX10dBV /50KΩ	:RCA 1系統
●ライン音声出力	-10dBV MAX 8dBV /100Ω（ボリューム最大時）	:RCA 1系統
周波数特性	20Hz～20kHz ±1dB	
歪率	0.01% 0dBV /1kHz	
S/N	77dB以上 0dBV /1kHz	
●スピーカ定格出力	25W×2（4Ω 1kHz THD 1%） 20W×2（6Ω 1kHz THD 1%） 17W×2（8Ω 1kHz THD 1%）	
周波数特性	20Hz～20kHz ±1dB	
コネクタ	2ピース4ピンコネクタ	1系統
●USB	前面、背面中継（スルー）：USB2.0 TYPE Aコネクタ	
●LAN	前面、背面中継（スルー）：UTP CAT5 RJ-45コネクタ	
●AC100V サービスコンセント	前面×1個口 3A 背面×2個口 4A 合計最大電流 7A	
●電源	AC100V 60/50Hz 日本国内専用	
●消費電力	最大60W / AC100V	
●使用環境	周囲温度 0℃～40℃ 周囲湿度 25%～85% 結露しないこと。	

注意

- ・風通しの良い所に設置してください。
- ・暖房機器の熱が直接当たらない所に設置してください。
- ・熱、水、湯気、油、油煙がかかる所や換気扇の近くには設置しないでください。

●質量	3.8kg（単体時）±0.1kg
●外形寸法	430（W）×171（D）×86（H）mm 突起部金具含まず
●塗装色	ライトグレイ色半艶消し焼付塗装 レザートーン仕上げ
●付属品	取付金具、電源プラグ3P-2P変換

製品の定格及びデザインは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

8. 故障かなと思ったら

電源スイッチをONにしても、スイッチ操作やサービスコンセントが使えない。

- 電源ケーブルがきちんとコンセントに接続されていますか？
接触の悪い部分はありませんか？
- ACコンセントからきちんと電源が供給されていますか？
他の電気器具を接続し、動作を確認して下さい。
- ヒューズが切れていませんか？
ヒューズの導通を確認して下さい。

ヒューズが良く切れる。

- サービスコンセントに7 A以上の流れる電気製品を接続していませんか？
サービスコンセント（全3個口）のは合計電流が7 A（700W）までとなっています。
7 Aを超えない電気製品を接続して下さい。

操作スイッチを押しても外部接続機器の電源ON/OFF、入力切替ができない。

- 外部接続機器本体の電源が供給されていますか？
外部接続機器の状態を確認して下さい。
- 外部接続機器のメーカー、型番はカスタムソフトに適合していますか？
カスタムソフトの仕様を確認して下さい。
- RS-232Cケーブル正しく結線していますか？
ケーブル結線を確認して下さい。
- RS-232Cケーブルが断線、接触不良を起こしていませんか？
ケーブルの導通を確認して下さい。
- 外部接続機器側で通信フォーマット等の設定が変更されていませんか？
外部接続機器の設定を確認して下さい。
- RS-232Cのケーブル延長距離が20mを超えていませんか？
20m以上延長している場合、通信ができない可能性があります。20mを超える場合、別途ケーブル延長器（BX-200-L）等を使用し延長することを推奨します。

外部接続機器に映像が出力されない。

- 映像ケーブルが断線、接触不良等を起こしていませんか？
ケーブルの導通を確認して下さい。
- 外部接続機器の入力コネクタが異なっていませんか？
カスタムソフトの入力指定と相違がないか確認して下さい。

スピーカから音声が出力されない。

- メイン音声ボリュームがMIN（最小）になっていませんか？
ボリューム位置を確認して下さい。
- 音声ケーブルの極性などが正しく接続していますか？
ケーブルの接続を確認して下さい。
- アンプに適合したスピーカやケーブルを使用していますか？
接続スピーカが仕様(25W×2W-4Ω、20W×2-6Ω、17W×2-8Ω)に適合しているか確認して下さい。

USB、LANを本機で中継すると使用できなくなる。

- ケーブルが最大延長距離を超えていませんか？
スルー出力のため、端末間でケーブルの全長が最大延長距離を超えている場合、不具合の原因となる場合があります。
- ケーブルが正しく結線していますか？
スルー出力仕様のため、本機と端末間で共にクロスケーブルを接続した場合、ストレート結線で端末間を接続したのと同じになります。端末間でクロス結線をする場合、本機からそれぞれクロス、ストレートを組み合わせて使用します。